

経済 Topics

■ 大分県内の最新経済動向について

大分県内の経済は「緩やかに持ち直して」います。乗用車販売や住宅着工の一部に弱さみられますが、観光業では持ち直しています。雇用情勢は、有効求人倍率が上昇基調にあり、持ち直しの動きが続いています。

今回のテーマ

大分県民の生活実態調査

■ はじめに

今年に入ってさまざまな物の価格が上がり、家計への負担を感じている方も多いのではないのでしょうか。当研究所では、今年の8月に、大分県内にお住まいの方400人を対象に生活実態に関するアンケートを実施し、収入や支出の増減などについてお伺いしました。今回はそのアンケート結果についてご紹介します。

■ 世帯収入の動向

世帯収入について、1年前と比較して増えたのか減ったのかを尋ねたところ、収入が「増えた」と回答した人は約1割だったのに対し、「減った」と回答した人は3割強に上りました。年代別では、全ての年代において収入が「減った」という人の割合が、「増えた」という人の割合を上回りました。特に、60代以上では、収入が1年前よりも「増えた」と回答した人はほとんどいませんでした。

■ 世帯消費支出の動向

世帯消費支出について、1年前と比較して増えたのか減ったのかを尋ねたところ、今年の8月時点ではありますが、「増えた」と回答した人は3割強となった一方、減ったと回答した人は1割強となりました。世帯収入では「減った」と回答した人の方が多かったのに対し、消費支出については「増えた」と回答した人の方が多いという結果となりました。

費目別では、「水道光熱費」や「食料品」「日用品」などの生活必需品では1年前よりも支出が「増えた」人の割合が「減った」人の割合を上回ったのに対し、「教養娯楽」や「外食費」「旅行」といった娯楽関連の費目では、支出が「増えた」人の割合よりも「減った」人の割合の方が多くなりました。

■暮らし向きの変化

1年前と比べて暮らし向きが良くなったのか悪くなったのかを尋ねたところ、暮らし向きが「良くなった」との回答は1割弱だったのに対し、暮らし向きが「悪くなった」との回答は3割弱となりました。年代別にみても、全ての年代で「悪くなった」との回答が、「良くなった」との回答を上回りました。

■物価上昇の影響と具体的な対策

物価上昇の影響をどの程度感じるか尋ねたところ、約3割が「強く感じる」と回答し、約半数が「ある程度感じる」と回答しました。両者を合わせると、全体の8割以上が物価上昇の影響を感じているという結果となりました。

また、物価上昇に対する具体的な対策について尋ねたところ、「ぜいたく品の購入を見直す」や「買い物先を工夫する」など、外出先での支出を抑えるような対策を検討している人が多いことが分かりました。一方、「資産運用の見直し」や「交通手段の見直し」といった対策を検討している人はともに1割未満と少ないことも分かりました。

■まとめ

公的な統計データから、県内では今年の1月頃から物価が上昇傾向にあることが確認されました。今回のアンケートでも約8割の人が物価上昇の影響を感じていると回答した一方、収入が1年前よりも増えたと回答した人は1割程度に留まっており、その結果、暮らしづりが悪くなったと感じている人が多いようです。

また今回の調査では、物価の上昇に対し、ぜいたく品の購入を見直したりより安い買い物先を探したりといった対策を検討している人が多いことも分かりました。しかしながら、こうした動きが過度に広がると企業業績や雇用情勢にも影響を及ぼしかねないため、当研究所では引き続き家計の動向について注視していきたいと考えています。

(提供：(株)大銀経済経営研究所)